RESONAC

ゼロアスベスト製品

# カチモルハード

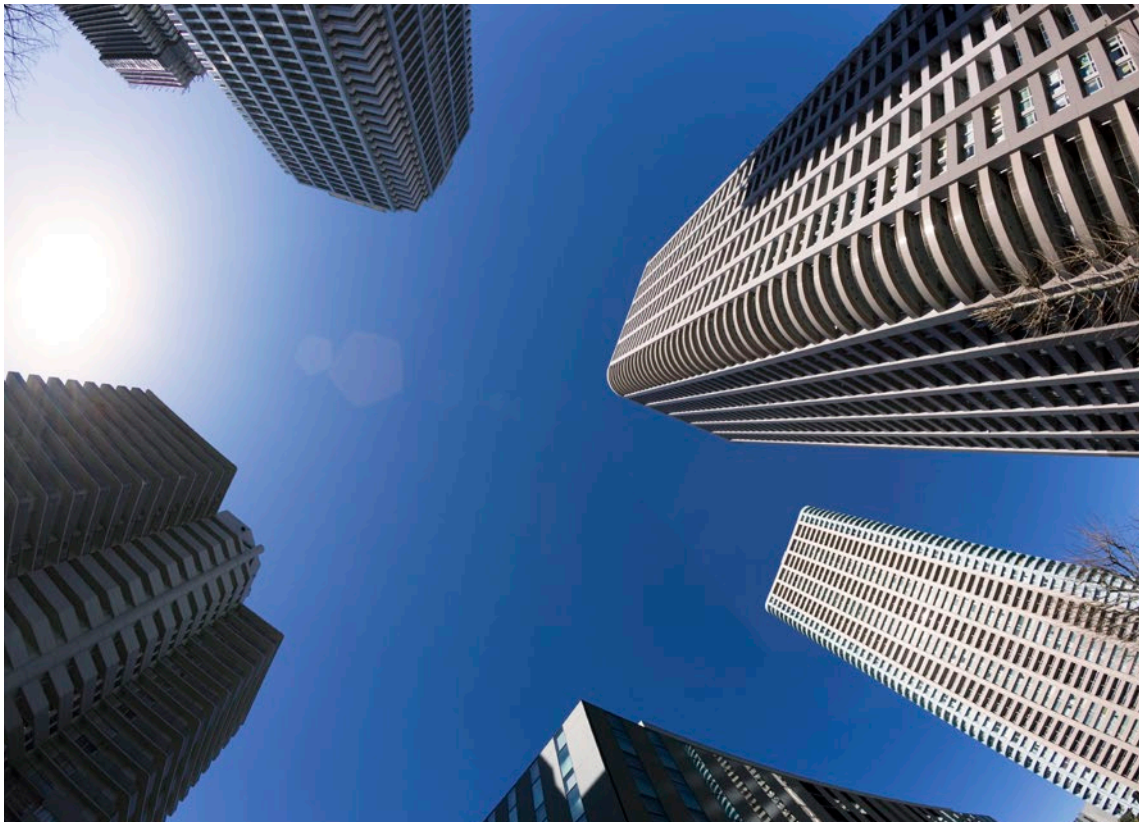
レゾナック建材のプレミックスモルタルは全て、石綿や石綿関連の素材を一切含まないゼロアスベスト製品です

業務用

## 断面修復用ポリマーセメントモルタル

## 高強度コンクリート構造物　欠損部補修

### 再乳化形粉末樹脂（アクリル系カチオン）入りプレミックスモルタル



| 日本建築仕上材工業会登録 | |
|---|---|
| 商品名 | カチモルハード |
| 表示登録番号 | 0706003 |
| ホルムアルデヒド放散等級区分表示 | F☆☆☆☆ |
| 製造業者等名称 | 株式会社レゾナック建材 |
| ロット番号 | 梱包に表示 |
| 問い合わせ先 | https://www.nsk-web.org/ |

本製品は、JCQAによりISO9001認証された製造事業所によりつくられています

Resonac Kenzai Corporation

「カチモルハード」は、高強度コンクリート構造物の欠損部補修・断面修復用として開発された再乳化形粉末樹脂（アクリル系カチオン）を配合したプレミックスモルタルです。

## 高強度コンクリート構造物（欠損部）補修に最適なモルタル「カチモルハード」とは？

●試験は、日本建築学会1997年「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針（案）・解説」の付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準（案）による。

### 1. 圧縮強度50N/mm²・付着強度2N/mm²以上の「高強度モルタル」です。

■ 強度：圧縮・曲げ・付着（材齢 28日）

| | |
|---|---|
| 圧縮強度 | 59.6 N/mm² |
| 曲げ強度 | 12.1 N/mm² |
| 付着強度 | 2.5 N/mm² |

### 2. 欠損部補修に最適なモルタルです。

■ 長さ変化・吸水量（材齢 28日）

| | |
|---|---|
| 長さ変化 | 0.098 % |
| 吸水量 | 8.5 g |

### 3. 付着強度を向上させるために、「再乳化形粉末樹脂（アクリル系カチオン）」を配合しています。

■ 付着耐久性

| | |
|---|---|
| 標準養生 | 2.5 N/mm² |
| 温冷繰り返し後 | 2.2 N/mm² |

### 4. 作業性が良く、簡単に施工できます。

※記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。

## 標準施工面積・荷姿

【カチモルハード】

| 荷　姿 | 適用部位 | 適用下地 | 適用仕上げ | 標準調合 | 塗　厚 | 標準施工面積 | 練り上がり量 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20kg<br>防湿紙袋 | コンクリート欠損部<br>モルタル欠損部 | コンクリート、<br>モルタル、PC板 | 仕上塗材<br>陶磁器質タイル<br>塗り床　　等 | 清水 約3.2ℓ | 欠損部：5～60㎜<br>面施工：5～10㎜ | 約0.55m²<br>(20mm厚) | 約11ℓ/袋 |

【専用プライマー】

| 品　名 | 荷　姿 | 標準使用量 | 標準施工面積 |
|---|---|---|---|
| ハイモルエマルジョン® | 4kg/缶 | 0.1kg/m²<br>※5倍液 | 約200m² |
| | 18kg/缶 | | 約900m² |

## 施工方法

**1 下　地　処　理**

●下地面のレイタンス、脆弱層、油分、汚れ等を、ワイヤブラシ、サンダー掛け等で適切に除去してください。
●鉄筋が露出して発錆している場合は、ワイヤブラシ、研摩紙等で除去し、防錆処理をしてください。

**2 プライマー塗布（吸水調整材）**

●下地乾燥後、必ずプライマーとしてハイモルエマルジョン®5倍液を刷毛でむらなく塗布してください。

**3 混　　練**

●**混練水比**
カチモルハード20kg袋に対し約3.2ℓの水を加え、ハンドミキサー等で泡の巻き込みや固まりができないように3分以上混練してください。

**禁　止**

・強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。
・加水後の材料は、夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

**4 塗　り　付　け**

●下地に対し鏝圧を十分にかけ、厚さ「2～3mm」程度でガリッと摺り込むように塗り付けた後、所定の厚さになるように塗り付けてください。
●塗厚の目安は、1日あたり30mmを限度として1回あたり5～10mmの間で塗り重ねてください。

**注　意**

・塗厚30mmを越える場合には、2日以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季1日以上、冬季3日以上を目安としてください。
・壁で深さ25mm以上かつ0.3m²以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン、ステンレス線を併用してください。
・用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。

**5 養　　生**

●仕上げ材施工までの養生期間は、7日(冬季 10日)以上としてください。
●通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。

**注　意**

・施工後、降雨、降雪のおそれがある場合は、強度不足、白華（エフロ）の原因となりますので、シート掛け等を行ってください。

**6 施工上の注意事項**

●気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
●現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
●雨露のかからない湿気の少ない所に保管し、地面に直接放置しないでください。
●購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

# 性能試験結果

| 試験項目 | | | 試験結果 | 日本建築学会1997年「断面修復用ポリマーセメントモルタル」の品質基準(案) |
|---|---|---|---|---|
| 単位容積質量 (kg/ℓ) | | | 2.1 | — |
| 曲げ強さ | (N/mm$^2$) | | 12.1 | 6.0 以上 |
| 圧縮強さ | (N/mm$^2$) | 材齢　7日 | 45.0 | — |
| | | 材齢 28日 | 59.6 | 20.0 以上 |
| 付着強さ | (N/mm$^2$) | 標準養生 | 2.5 | 1.0 以上 |
| | | 温冷繰り返し後 | 2.2 | 1.0 以上 |
| 吸水量 | (g) | | 8.5 | 20.0 以下 |
| 透水量 | (mℓ/hr) | | 0.3 | 0.5 以下 |
| 長さ変化 | (%) | | 0.098 | 0.15 以下 |

試験場所：財団法人 ベターリビング
試験方法：日本建築学会1997年「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・解説」の
付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)による。

※記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。

## 注意事項

**〈施工上の注意〉**
●気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
●施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
やむを得ず施工する場合は、適切な養生(シート養生等)を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華(エフロ)の原因となります。
●現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
●セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常ありません。

**〈使用上の注意〉**
●取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
●取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

**〈応急措置〉**
皮膚に付着した場合：皮膚は多量の水で洗浄してください。
汚染された衣類を脱いでください。
皮膚刺激が生じた場合は医師の診断又は手当てを受けてください。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
直ちに医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合：口をすすいでください。無理に吐かせないでください。
気分が悪いときは医師に連絡してください。

**〈保管上の注意〉**
●雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け、地面に直接放置しないでください。
●購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

**〈運送上の注意〉**
●袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
●転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
●湿気、水濡れに注意してください。

**〈廃棄上の注意〉**
●都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

**〈漏出時の注意〉**
●飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などで回収してください。
排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

このカタログの記載内容は2025年3月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。


**株式会社レゾナック建材**

■本社・営業部
〒221-8517
横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL(045)444-1691
FAX(045)444-1699
https://rkc.resonac.com/dobokuzai_kp/

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ■仙台営業所 | 〒983-0841 | 仙台市宮城野区原町3-7-14 | TEL (022) 742-5077 | FAX (022) 291-1911 |
| ■名古屋営業所 | 〒460-0008 | 名古屋市中区栄3-11-23 | TEL (052) 249-3151 | FAX (052) 249-3152 |
| ■大阪営業所 | 〒532-0011 | 大阪市淀川区西中島6-5-3 | TEL (06) 6100-2202 | FAX (06) 6100-1232 |
| ■福岡営業所 | 〒812-0013 | 福岡市博多区博多駅東1-17-1 | TEL (092) 577-1205 | FAX (092) 577-1206 |
| ■関東SCMセンター | 〒120-0024 | 足立区千住関屋町1-4 | TEL (03) 3881-5001 | FAX (03) 3870-3952 |
| ■東北SCMセンター | 〒983-0034 | 仙台市宮城野区扇町1-7-2 | TEL (022) 231-2070 | FAX (022) 231-2073 |
| ■中部SCMセンター | 〒452-0837 | 名古屋市西区十方町172 | TEL (052) 501-2421 | FAX (052) 501-2424 |
| ■関西SCMセンター | 〒567-0058 | 茨木市西豊川町14-3 | TEL (072) 641-6399 | FAX (072) 641-6401 |


[■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所]